

第153回実践勉強会 実施レポート

共催 武田薬品工業株式会社 大田区薬剤師会

参加者 73 名

日時：2023 年 5 月 1 1 日(木)19:45～21:15

形態：Teams

演者：藤井紘大先生（東邦大学医療センター大森病院 消化器内科）

演題：潰瘍性大腸炎の治療の実際

【質問】

- ① VERSITY 試験に日本が参加しないのはなぜか？
詳細は不明だが、試験エントリー期間に日本での発売が間に合わなかった可能性が高い
- ② 結果に差があるが、ENTの方がいいのか？
1つの試験において結果が出たからと言って、すべての患者さんに当てはまるのではないので、個々の患者さんの病状や症状に応じて薬剤を選択していくことが通常。
- ③ 寛解した患者さんに投与薬剤の減薬は可能か？
患者さんが5ASA でコントロールできている患者さんなら、相談して可能だが、生物学的製剤を投与されている中等症以上の患者さんには通常減薬は行わない
- ④ 減薬により再燃もあるのか？
あるので見極めが必要
- ⑤ 一生治療を続けていくのか？
基本的にはずっと続けていくことになる
- ⑥ 経済的にも負担があるのでは？

特定疾患に指定されることが多いので、取得してから高額な薬剤を使用する

⑦ 特定疾患の流れ

申請書を役所に提出し、申請許可後に使用した医療費は返金される。申請が通ってからの返金されるので、一時的な医療費の支払いが必要になることは注意が必要